

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名		「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり				
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと		事業期間	開始	平成 ▼ 25 年度
(小項目)	観光		終期			未定 ▼
施策	01	観光・交流のまちづくり				
基本事業	3	観光情報の発信強化				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 観光客										
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	平成26年度から導入される「本四高速への全国共通料金制度」を見据え、関西圏をターゲットにしたセールスプロモーションを実施することにより、観光客増を図る。										
成果目標	事業目標の達成度合	指標名					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		観光入込客数					2,300,000	2,350,000	2,400,000	2,450,000	2,500,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「走る広告塔事業」「ロケ誘致事業」「店舗広告事業」「交通広告事業」の4つの柱で、「橋を渡れば感動の国」と題したセールスプロモーション事業を展開した。 徳島～関西圏を走る高速バスへの観光資源等のラッピングや「おはよう朝日です」「旅サラダ」などのテレビ番組のロケ誘致、さらには、関西圏の主要郵便局30局や梅田やなんばなどの主要交通拠点に、観光ポスター・パンフレットや阿波踊りポスター・チラシ等を掲示することにより、本市への誘客を図った。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	テレビ番組ロケ誘致数		4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	観光入込客数		1,895,609	1,843,242	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			78.4	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		0	8,571	3,584	3,584	3,584	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	8,571	3,584	3,584	3,584	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		0	1,955	1,955	1,955	1,955	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)		0.3	0.3	0.3	0.3		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		0	10,526	5,539	5,539	5,539	千円	

【事務事業名:「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	引き続き、高速バスへのラッピングにより観光PRを行う「走る広告塔事業」、テレビ番組のロケを誘致する「ロケ誘致事業」、ポスター・チラシ等をバスターミナルなどの交通拠点に掲出する「交通広告事業」を実施する。 観光資源や優良なロケ地を紹介するメディア向けリーフレットを作成し、テレビ局等を訪問することにより、マスメディアを活用したセールスプロモーションを実施する。 平成26年度に「四国霊場開創1200年」「瀬戸内海国立公園80周年」を迎え、注目を浴びている「四国霊場八十八箇所」や「鳴門公園」に焦点を当て、メディア訪問を行う。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

		1.必要性の評価	理由等所見欄	
事務事業の評価	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	本市は優れた観光資源を有しているがここ数年観光入込客数が伸び悩んでいる。さまざまな媒体を活用することにより、観光PRを実施することが必要である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策「観光・交流のまちづくり」の達成につながる事業である。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。		
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。		
		<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。		
	/10			
			2.有効性の評価	理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	本市の観光誘客にとって、最大のターゲットである関西圏に傾注した施策展開により、より効果的なセールスプロモーションとしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。		
		<input type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
			3.効率性の評価	理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	バス会社等、交通機関の協力により、無料で交通拠点にポスターを掲出してもらうなど、より効果的な事業展開を図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。				
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。				
<input type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。				
<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。				
/10				

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				